

論点1 効果的な業務運営体制の構築

新興感染症に対応する体制を速やかに整備するためのマネジメント機能の強化、受援体制の構築、急増する業務量を見据えた業務実施方法（委託化・一元化等）について

- ◆ 新たな感染症有事を見据え、都保健所の体制をいかに強化するか
- ◆ 新規業務に対する執行体制の整備、保健所業務の重点化、応援職員や外部人材の受入体制の構築など、感染症有事に増大するマネジメント機能をどのように強化するか
- ◆ 保健所で担うべきコア業務以外の業務を、必要時に速やかに保健所以外で実施できるよう、どのように仕組みを作っておくか
- ◆ 新たな感染症有事に備えて、新型コロナ対応で効果的であった業務のデジタル化をいかに進めていくか

論点2 専門人材（医師、保健師等）の確保・育成

検査、積極的疫学調査、健康観察、クラスター対応等、高い専門性を必要とする業務に対応するための専門人材（医師、保健師等）の確保・育成について

- ◆ 感染症有事の際に速やかな外部人材の確保や育成をどのように行うか。そのために平時からどのような仕組みを構築すべきか

論点3 地域ごとの連携・協力体制の構築

新興感染症発生時における都保健所・市町村・医療機関等との役割分担の明確化や協力体制の構築、有事における情報共有について

- ◆ 新型コロナ対応を踏まえ、都保健所、市町村、医療機関等で感染症有事における役割分担、協力体制の構築をどのように行うか。そのために平時からどのように連携すべきか
- ◆ 感染症有事において、市町村が住民への情報発信や普及啓発等を円滑に行うための情報提供や、各関係機関の取組状況等の情報共有体制をいかに構築すべきか